

2019年3月期決算説明会 質疑応答

- Q1. 新しいシステムへの投資の話が多かったが、じゅうだん会共通の基幹システムが古くても各種新システムへの対応は可能なのか？
- A1. 当行が利用しているじゅうだん会共通のシステムと新しいシステムの連携についてはAPIを活用する。例えば今回導入する新営業店端末には、ホスト側とデータをやり取りする機能があり、その機能を用いてタブレット端末と接続する。
- Q2. 企業主導型保育園については行員以外の方の子どもの受け入れも可能なのか？また、地銀の事業（ビジネス）として拡大していく意向はあるか？
- A2. 現在入園しているのは行員及び関連会社の従業員の子どものみだが、行員以外の方のご子息・ご息女についても入園可能である。企業主導型保育園を、従業員への福利厚生ではなく収益事業として拡大することは、業法上困難と認識している。
- Q3. 営業行員の人事異動廃止は営業行員全員に適用されるのか？
- A3. 営業行員全員の人事異動を廃止することは難しく、恐らく半数弱程度が対象となると思われる。人事異動のない営業行員は、海外では一般的なスタイルと認識している。
- Q4. 役務利益について2020年3月期計画では「その他」の伸びが大きくなっているが何故か？
- A4. 住宅ローンについて、保証料タイプから手数料タイプへ変更した商品の導入を検討中であり、その分「その他」が計画上大きくなっている。

以上